

神話伝説の山里

# 「高千穂郷」通信

平成20年1月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.61

## 消防出初(始め)式!



日之影大橋を分列行進する日之影町消防団員(日之影町消防始式)



日之影町役場近くの河川敷で行われた放水試験(日之影町消防始式)



訓練に参加した県防災救急ヘリコプター「あおぞら」(高千穂町消防出初式)

高千穂町、日之影町及び五ヶ瀬町で新春恒例の消防出初(始め)式が1月5日に一斉に行われました。日之影町消防団(橋本典親団長、4分団19部)は日之影小学校での通常点検、機械器具点検の後、役場前まで市街地を分列行進しました。消防車両の放水試験では色とりどりの水のアーチを披露しました。高千穂町消防団(興梠正幸団長、10分団33部)は高千穂町総合公園で、五ヶ瀬町消防団(佐藤成志団長、6分団12部)は五ヶ瀬町職員駐車場でそれぞれ通常点検などを実施しました。また、高千穂町では県防災救急ヘリコプター「あおぞら」による救助訓練も行われました。郷土の守り手である消防団員の凛とした姿勢ときびきびとした動きが印象的でした。当日は、表彰式もあり、消防功労者に対する表彰状や内助の功感謝状が贈られました。

# 高千穂町で食の文化祭



「高千穂町食の文化祭」が、1月20日、高千穂アグリセンターゆめゆめプラザで開催されました。「子どもに食べさせたい」をテーマに料理や弁当、おやつ約170点が展示され、町内外からの参加者約200人が様々な味を楽しみました。

## 県境を越えた地域振興連絡会議

熊本県阿蘇地域振興局、大分県豊肥振興局、大分県西部振興局並びに西臼杵支庁の4つの県出先機関では、県境を越えて情報交換を行い協力連携することで地域全体の活性化を図ることを目的に「県境を越えた地域振興連絡会議」を1月23日に開催しました。

会議では、各局（支庁）が管内の状況を報告した後、広域的な観光推進を図るための具体的な取組みについて協議を行いました。

続いて、各局（支庁）における地域振興の参考とするために、お互いの管内における地域振興の取組事例の紹介を行いました。

この会議は平成13年度から毎年持ち回りでっており、来年度は大分県豊肥振興局管内で開催の予定です。



広域観光施策等について、積極的な意見交換を行いました（国民宿舎ホテル高千穂）

## わけもんの主張 - 有権者意見発表会 -

青年が、選挙や政治に対し、日ごろ考えていることや感じていること、求めていることを述べることにより、成人としての認識を深め、有権者としての責任感や明るい選挙推進運動に対する意識の高揚を図るため開催されている「わけもんの主張」の西臼杵支会予選会が1月18日に高千穂町役場大会議室で開催されました。

西臼杵3町の6人が発表。最優秀賞に日之影町の田中君枝さん、五ヶ瀬町の小方友見さんが選ばれました。

田中さんは「小さな所からの一票」、小方さんは「未来への掛け橋」と題して発表しました。

最優秀賞の2人は2月26日に宮崎市のJ A アズム大ホールで開かれる県大会に出場します。



小方友見さん



田中君枝さん

## 県森連新春初市開催

1月7日に、宮崎県森林組合連合会の高千穂林産物流通センターと同センター五ヶ瀬出張所において、新春初市が開催されました。

初市には県内外から約70人が参加し、全国一の生産量を誇るスギ丸太が威勢良く競り落とされました。今回のスギ平均単価は9,540円と前回並みでしたが、4千立方メートルを販売しており、同センターでは過去最高の年間取扱量（9万立方メートル）を見込んでいます。



新春初市（高千穂町大字三田井）



新春初市（五ヶ瀬町大字三ヶ所）

## 高千穂町で観光に関するセミナー開催

高千穂町で、観光客が高千穂の未来をつくる「高千穂町の人口減少をストップさせよう」をテーマとしたセミナーが1月23日、24日に開催されました。セミナーは県が補助する「元気・感動みやざき観光地づくり」事業を活用し、高千穂町旅の回遊観光地づくり協議会の主催で開催されました。

1日目は住民の方々と観光関連の事業者を対象に高千穂温泉で、2日目は観光関連の事業者のみを対象に高千穂町役場で実施されました。

プランニングオフィス「発見の森」代表の大岩立正さん、まちづくりプランナーの田中正國さんを講師に高千穂町の観光が抱える問題点などについて議論が交わされました。



高千穂町の住民と観光関連事業者を対象としたセミナー

## 第61回全国茶品評会農林水産大臣賞の知事報告

1月18日に、本年度の全国茶品評会で、農林水産大臣賞を受賞した五ヶ瀬町の興梶洋一さん、瞳さん夫妻が知事に受賞報告を行いました。

受賞した釜炒り茶を日本茶インストラクターでもある瞳さんが入れ、知事に、「香りも良く、美味しい」との感想をいただき大変好評でした。

報告には五ヶ瀬町長をはじめ、茶生産グループ「新緑会」のメンバーも同行し、当地域の釜炒り茶をPRしてきました。今後も、地域の牽引役である当グループの活発な活動が非常に楽しみです。



知事室での懇談の様子



知事との記念撮影

## 平成20年産 葉たばこの種まき

1月28日、高千穂葉たばこ生産組合の種まきが、組合の代表者、緒嶋議員や高千穂町長、日之影町長を始めとする関係者も参加し盛大に行われました。

本年の西臼杵郡内の作付面積は、103haを計画しており（販売目標4億円）、雪の舞う天候の中、47名の参加者が7月の豊作を祈願し播種を行いました。



高千穂町浅ヶ部での播種の様子

## 地球温暖化防止活動研修会

1月21日

「地球温暖化防止活動研修会」が高千穂町中央公民館で行われました。

県環境情報センターの詠田トキ子所長が「地球温暖化防止」をテーマに講演。身近にできる温暖化対策について説明しました。

講演の後に、参加者は廃油を使ったろうそくづくりを体験しました。



廃油を使ったろうそくづくりを体験する参加者

## 日之影町大人地区で夜神楽開催

1月13日

日之影町大人地区の夜神楽が、同地区「歌舞伎の館」で行われました。岩井川神社で正午から「東西」「鎮守」「杉登」の式三番を奉納した後、歌舞伎の館まで舞い入れしました。

夜神楽は、午後7時から「森の正教」が舞われ、最後の演目「舞開」まで夜を徹して舞が舞われました。

会場には、たくさんのお見物人が訪れ、お神酒やうどんなどのお接待を受け、夜神楽を楽しみました。



多くの観客で賑わう夜神楽

## 編集後記

高千穂郷通信は、創刊して6年目に入りました。今年も取材でお世話になりますが、よろしくお願ひします。先日、熊本県、大分県の出先機関と西白杵支庁が県境を越えて連携する会議を高千穂町で開催しました。これからは県境を越えた連携が観光振興、地域づくりには、ますます重要になります。西白杵3町が取り組む「西白杵観光振興プロジェクト」の大きな柱の一つが阿蘇地域との連携です。みんなで協力すれば、必ず道は開けます。いろいろな可能性にチャレンジしましょう。 博

\* 西白杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などありましたら下記までご連絡ください。

## お問い合わせ先

宮崎県 西白杵支庁 総務課  
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760  
URL [http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiiki/shityoson/nishiusuki\\_shityo/index.html](http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiiki/shityoson/nishiusuki_shityo/index.html)

100 古紙配合率100%、白色度82%を使用しています。

## 高千穂神社で猪掛祭

1月10日

鬼八退治伝説にまつわる「猪掛祭(ししかけまつり)」が1月10日に高千穂町三田井の高千穂神社で行われました。多くの参列者が五穀豊穰や無病息災を祈願しました。

猪掛祭は高千穂地方を暴れ回っていた鬼八を神武天皇の兄の三毛入野命(みけいりのみこと)が退治したという伝説に由来します。

同日は神前に猪をささげ、神職や舞人などが「笹振り神楽」を奉納。太鼓や笛に合わせて笹を振りながら、鬼八眠らせ歌を歌い、鬼八を鎮魂しました。両手に持った笹を左右に振るシンプルかつ独特なもので、高千穂神楽の原形の一つと考えられています。



伝統の笹振り神楽を奉納した猪掛祭

## 西白杵支庁だより

## 消防訓練・救命救急講習を実施

1月16日

西白杵支庁では、万一の事態に備えるため、高千穂町総務課の協力を得て、消防訓練及び救命救急訓練を実施しました。

庁舎2階にある湯沸室から出火したとの想定で訓練を行い、発見した職員が、非常ベルを押し、庁舎内の防火管理者に通報、各課の職員は庁内放送の指示に従い速やかに前庭に避難しました。

また、各担当職員が町消防防災係への通報、火元の消火、重要な書類や物品の持ち出しに従事すると共に、避難誘導と救護担当の職員が負傷者の救助などに当たりました。

参加した職員はそれぞれの役割を改めて確認しました。

救命救急訓練では、心肺蘇生法とAED(自動体外式除細動器)の適切な使用方法について学びました。



消火訓練を実習する西白杵支庁職員



心肺蘇生法を真剣に学ぶ西白杵支庁職員